

つつじが丘ふれあいのまちづくり協議会 6月役員会議事録

承認	照査	作成
		島田

欠 席：小林、田中、島田

日 時：6月4日09：30

配布物：6月役員会議題、ふれまち助成金交付申請書
ふれまち予算書、2022年度予算案

場 所：ふれあいセンター

議 事

1. 小寺委員長挨拶：

- ・コロナ発見者数は兵庫県で800人程度に減少してきた。
- ・県の行事は実施再開が前提だが、2m以上の距離を開けてなどが前提。
- ・つつじが丘小学校、桃山台中学校では現在発症は無いが、他学校では発症している。
- ・今後は活動再開を前提として進める。

2. 運営交付金とふれまち助成金

- ・ふれまち助成金36万円を総額申請
- ・運営協力金予算300千円 (@100円/人・回) も役所に報告する義務有り
- ・ふれあいのまちづくりだより→昨年まで、予算化して無かった。今年度は予算化した。

3. 友愛助け合い事業の設置（シニアクラブ設置）

- ・従来神戸市が出していた費用をみずほ銀行が出資してくれる事になった。
- ・つつじが丘が「ささゆり」サークルで応募・・・シニアクラブで福祉グループを造る。
(民生委員の活動→友愛訪問とは別途)・・・民生委員との差別化がポイント
- ※一番問題なのは友愛訪問の対象外の方（誰も見守りしていない）
- ・ふれあいセンターを拠点にして始める→了解された。

4. すくすく広場のセンター利用について（今月までMAZDAを利用）

- ・4組～5組程度、スタッフを併せて10名程度。間隔を取る事。
- ・5組以下&つつじが丘の人限定で再開を認める。
- ※5組を越した場合は、帰って頂く。

5. 高齢者スマホ教室

- ・シニアクラブは講習希望（第四火曜日amを希望する）
- ・実施の方向で進める（シニア向けのスマホ活用相談会）
- ※スマホSNSなどの詐欺防止が目的

6. AED講習会

- ・来年2月に計画する（自治会、ふれまち協議会の併催）
- ・ふれあいセンターか自治会集会所で行う

7. 認知症予防教室

- ・定着するまで委員長が窓口になる→定着した後に、リーダーを決める
- ・「にこ☆きら」を廃止するが、新たな名前を考え中

つつじが丘ふれあいのまちづくり協議会 6月役員会議事録

8. ふれあいセンター入口の「花」飾り

- ・花代は運営費から出せる
- ・当番は決めない
- ・花を買って、センターに飾った後に、小口請求して下さい。

9. 推進委員会の実施

- ・ 9月ぐらいに開催する

10. 木曜日の健康体操はどうなっているか？

- ・ 人数が多い（会員で12～13人あり）ので、再開は難しい。
- ※センターでは10人が限度→から作り直す事が必要（女性・男性で決めない）
- ・ 男性、女性で分ける。グループを増やす事も検討する
- ※メンバーに集まって貰い、調整する

11. 古布製作・・・2F和室から、1F椅子座りに変更したい。

- ・ 2F和室で椅子使用も検討する
- ・ 第四金曜日pmは喫茶が広がれば、pmも必要になり、1Fは使用出来ない。

12. センター利用届

- ・ 感染予防対策が出来ていれば、毎月の利用届は止めても良い？（結果だけ報告）
- ・ 参加人数の結果は手元のメモを付けている（それぞれ別途の用紙を作っている）
- ・ 市には毎月の利用人数を提出する必要がある
- ※実施報告用紙の作成を堀田・田中で検討する

13. センター利用者の緊急用飲料水を用意する必要がある

- ・ OS1ゼリー、ポカリスエットなどを設置する。
- ・ 各5個を常時設置する（減ったら補充する） 担当：田中

14. 次回会議

- ・ 7月2日14：00～
- ・ 夏祭りを開催するか？ 検討中